

## 2. 流域及び河川の自然環境

### 2-1 流域の自然環境

嘉瀬川流域は豊かな自然環境を有し、流域の広い範囲が自然公園等に指定されている。上流域の福岡県との境は「脊振・北山県立自然公園」に中流部は「川上・金立県立自然公園」、<sup>てんざん</sup>「天山県立自然公園」に属している。

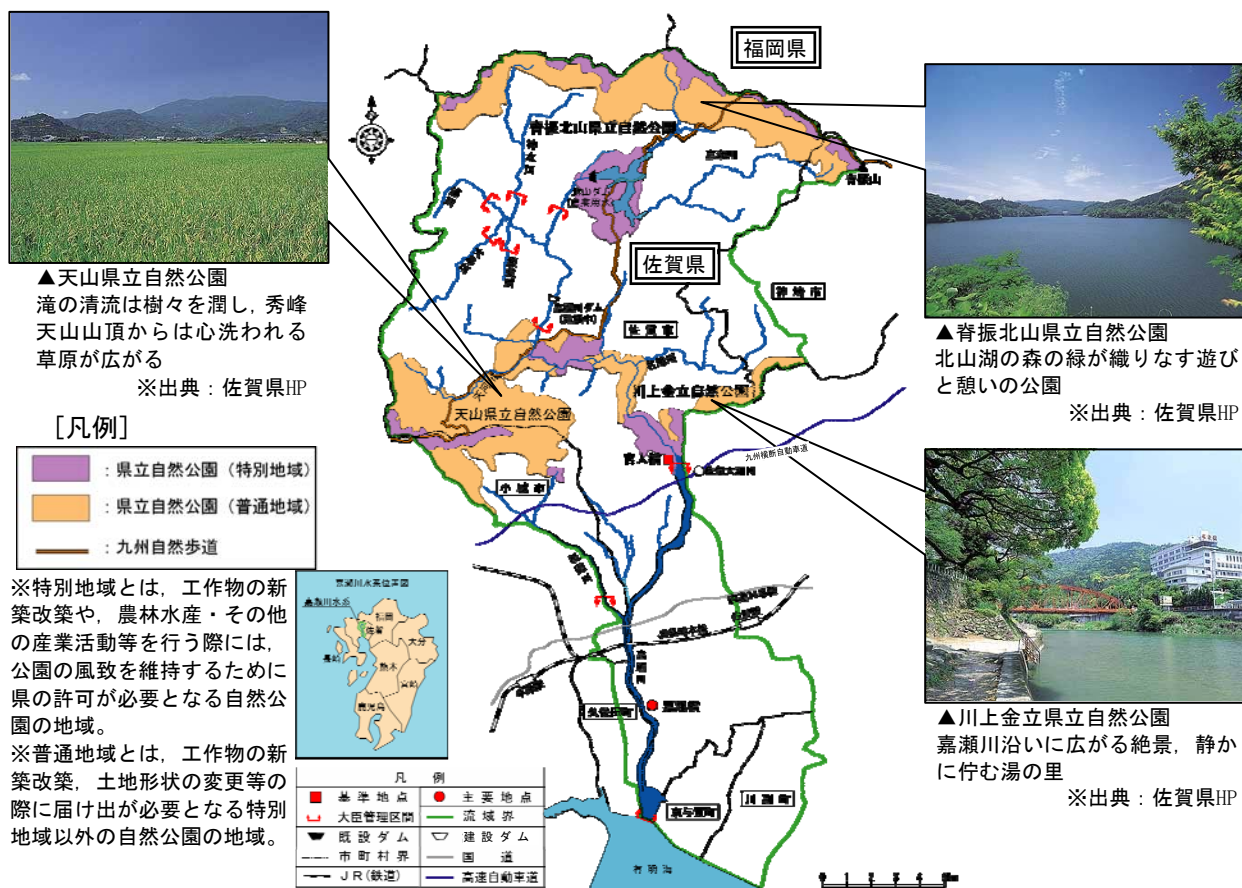


図 2-1-1 嘉瀬川流域内の自然公園等の分布図

嘉瀬川上流の源流付近は、河岸の樹木が川面を覆い、小滝や早瀬と淵が多く、その中に北山ダムが静かな湖水を湛えている。北山ダム湖の周囲は県立自然公園に指定されており、国民宿舎やキャンプ場をはじめ、さまざまなアウトドア活動を楽しめる「21世紀県民の森」などがあり湖水公園として親しまれている。

また旧富士町には古くから知られた名湯、古湯温泉<sup>ふるゆ</sup>や熊の川温泉<sup>くまかわ</sup>があり、齊藤茂吉<sup>さいとうもきち</sup>や青木茂<sup>あおきしげる</sup>といった様々な著名人が訪れている。

源流から川上峡までの上流部は、人工林を主体とした山間渓谷となっており、河床には巨石や玉石が多く、アユやカワガラスなどが生息している。川上峡付近は、九州の嵐山と称される景観を呈している。

川上峡から嘉瀬川大堰までの中流部は、佐賀平野を流下し、広い河川敷と狭い低水路からなり、嘉瀬川大堰<sup>にい</sup>等による湛水区間が大半を占めている。河岸には尼寺林<sup>にじりん</sup>（水害防備林）に代表されるモウソウチクやメダケ、ヤナギ類等の河畔林が点在し、動物の貴重な生息場となっている。石井樋からは多布施川が分派し佐賀市街部を貫流している。

汽水域<sup>きすいいき</sup>\*1 となる嘉瀬川大堰から河口部までの下流部は、干拓地の田園地帯を流下し、有明海へと注ぎ、有明海特有の大きな干満差の影響を受けた、広大な干潟が広がっており、水際にはヨシ原が繁茂している。

干潟にはムツゴロウ、シオマネキやハラグクレチゴガニなど有明海特有の生物が生息している。

※1：汽水域とは、河川の淡水（真水）と海水が混じり合う区間のこと。



▲北山ダムキャンプ場  
キャンプシーズンとなると県内外より人々が訪れる  
(写真出典：富士町商工会HP)



▲古湯温泉街  
古くから知られた名湯で様々な著名人が訪れた  
(写真出典：富士町HP)



▲尼寺林（水害防備林）  
洪水時の水の勢いを弱め、土砂を捕捉する役割を有する



▲ガタ土とヨシ原  
嘉瀬川の河口部は有明海特有のガタ土で覆われている

## 2-2 河川およびその周辺の自然環境

### 2-2-1 河川環境の特徴

#### (1) きれいな川

嘉瀬川では水の綺麗な河川を好むアユ・ヤマメ・タカハヤといった魚類が多く確認されている。

また、嘉瀬川の水質は水質基準地点である<sup>かんじんぼし</sup>官人橋(環境基準値：2.0mg/l)や久保田橋(環境基準値：8.0mg/l)において環境基準値を下回っており水の綺麗な河川である。

#### (2) 全国的に絶滅の危機にある魚種が多く生息する川

環境省や佐賀県では、河川の汚れや改修などにより魚の住み場所がなくなり、絶滅の危機に瀕している淡水魚類や汽水性魚類を、レッドリストとしてとりまとめ、保護のための基礎資料としている。

嘉瀬川で生息が確認されている魚類のうち、「スナヤツメ」、「ニッポンバラタナゴ」、「カゼトゲタナゴ」、「スジシマドジョウ小型種点小型」、「メダカ」、「ヤマノカミ」、「カジカ」、「オヤニラミ」の8種類がレッドリストに掲載されている魚種である。



▲スナヤツメ

【ヤツメウナギ目ヤツメウナギ科】

幼生・成魚とも、水の澄んだ流れの緩やかな浅い細流に生息。増水の影響を受けない場所で、湧水のある、砂泥底のところを好む。



▲カゼトゲタナゴ

【コイ目コイ科】

平野部の細流や灌漑水路のやや流れのある砂礫混じりの砂泥底を好む。



▲スジシマドジョウ小型種点小型

【コイ目ドジョウ科】

農業用の水路の砂泥底が主な生息地であるが、河川本流にも多い。



▲ヤマノカミ

【カサゴ目カジカ科】

感潮域上流部の、砂礫質の浅い狭小な水域。

### 写真 2-2-1 嘉瀬川において確認されたレッドリスト掲載魚種

### (3) 有明海特有のガタ土の堆積

阿蘇山の大噴火によって積もった土砂が長い年月をかけて風化して粘土質の泥に変わり、川によって運ばれてガタ土となった。

嘉瀬川大堰下流部に堆積している有明海特有のガタ土形成のメカニズムは、有明海の潮汐の変動が最大約 6m もある有明海の潮汐によってひき起こされる泥土の沈降・堆積により生じるもので、この干潟（ガタ土）は日々成長している。

また、干潟に繁茂するヨシ原等はそこで生息する動物にとって格好の生息・生育環境となっている。

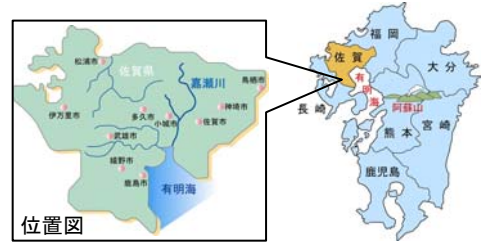


写真 2-2-2 嘉瀬川河口部

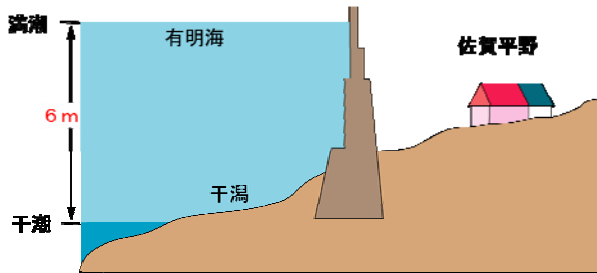


図 2-2-1 有明海特有の干満差



写真 2-2-3

### (4) 歴史的遺構である尼寺林

「<sup>にいじりん</sup>尼寺林」は嘉瀬川の治水事業に対して終生を捧げた「<sup>なりどみひょうごしげやす</sup>成富兵庫重安」の歴史的遺構であり、この<sup>すいがいぼうびりん</sup>水害防備林（竹林）は、洪水時に堤防を乗り越えた川の水や土砂を付近の耕地を荒らさないように徐々に氾濫させる役目を持つもので、この竹林により砂礫がふり落とされた泥水は田畑に流入しても客土となり、村民はむしろ洪水を喜ぶほどであった。



写真 2-2-4 尼寺林（水害防備林）

## 2-2-2 河川の環境特性

嘉瀬川を上・中・下流に分けて，区分毎の河川環境特性について示す。上中下流の区分分けについては次のとおりとした。

- 上流部：官人橋～上流端  
※山間部を含む
- 中流部：嘉瀬川大堰～<sup>かんじんげし</sup>官人橋  
※直轄管理区間上流端
- 下流部：河口～嘉瀬川大堰区間  
※感潮区間



図 2-2-2 嘉瀬川の河川区分図

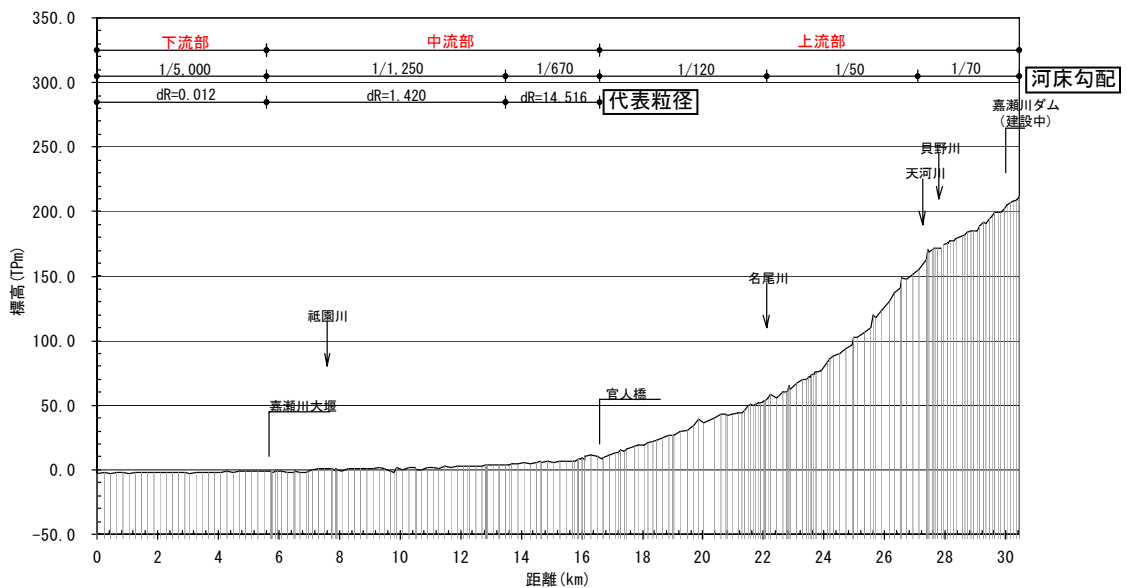


図 2-2-3 嘉瀬川河道縦断面図

## (1) 上流部の環境

### 清らかな流れの源流

源流から官人橋までの上流部は、脊振山系と天山山系の主にスギ林に囲まれた山間渓谷となっており、源流付近は河岸の樹木が河川上を覆い、小滝や早瀬と淵が多く分布し、タカハヤや清流を好むカジカガエル、ヤマセミなどが生息している。



▲カジカガエル

山地の溪流や水のきれいなところにすんでいます。カエルとは思えないきれいな声で鳴く



▲ヤマセミ

山地の溪流や湖沼、ダムなどに生息し、河川では上流、中流共に見られる

### 県内外から訪れる観光施設

佐賀平野に入る直上流の川上峡は、九州の嵐山と称され、山間を流れる美しい風景が人々を魅了している。そのほか、山あいの静かな温泉地として、<sup>さいとうもきち</sup>斎藤茂吉が訪れ滞在したことで有名な古湯温泉や熊の川温泉、キャンプなどで賑わいを見せる北山ダム湖が存在し、保養地として県民に親しまれている。



▲古湯温泉街

出典：富士町 HP



▲北山ダムキャンプ場

出典：富士町商工会 HP

## (2) 中流部の環境

### 今なお数多く残る歴史的遺構

川上峡を抜けると広大な佐賀平野が広がり、佐賀市街部近郊の田園地帯を流れる中流部となる。ここから川幅が急激に広がり、藩政時代から治水事業が営々と行われた特徴的な広い河川敷とせまい低水路となる。中流部の拠点として佐賀藩の武将成富兵庫茂安が築造した佐賀城下への取水施設である「石井樋」が存在する。ここには取水機能が適切に維持できるように洪水をゆるやかに流すための竹林や遊水地、砂の流入防止の工夫がほどこされている。(出典：武雄河川事務所)



▲石井樋取水施設



▲昔の大井手堰



▲石井樋地区歴史的な水辺整備事業

### 多くの人々が利用する広大な高水敷

山間から平野に入るとすぐに農業用取水堰の川上頭首工が存在し、また川上頭首工の湛水面が広がる右岸側に川上神社があり、川上峡を望む風景と清楚な川面を楽しみに多くの人々が訪れている。

そのほか広大な河川敷はゴルフ場や佐賀の秋の風物詩となっている佐賀国際バルーンフェスタ会場となるなど地域住民の憩いの空間となっている。また石井樋から分派する藩政時代に作られた人工水路である派川多布施川は、佐賀市街部を流下し、その散策道が整備された川辺には多くの人々の散策に利用され市民の憩いの空間になっている。



▲佐賀国際バルーンフェスタ



出典：武雄河川事務所



▲多布施川散策路

出典：武雄河川事務所

### (3) 下流部の環境

#### 地域住民のレクリエーションスポット

感潮区間となる嘉瀬川大堰から河口部までの下流部は、河床勾配の緩やかな田園地帯を流下する。昭和 30 年代以降に大規模な治水事業が行われ、蛇行していた河川はショートカットが行われている。その旧河道に佐賀県立森林公園が整備され地域住民のレクリエーションスポットとなっている。



▲佐賀県立森林公園(1)



▲佐賀県立森林公園(2)



▲佐賀県立森林公園(3)

2つの市町をまたぐ広い公園。メイン入口すぐの「健康広場」や南側入口近くの「アスレチック広場」には楽しい遊具が並ぶ。「県民の広場」には25種類の遊具が合体した大きな物も。野球場程の広さの「芝生広場」では小さな子供達も安心して走り回れる。また、野球場やテニス場、洋弓場などスポーツ施設も完備。

(出典：久保田町 HP)

#### 有明海特有の干潟の発達

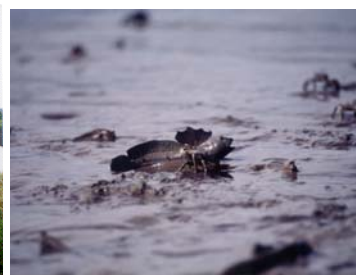
有明海特有の大きな潮汐の影響を受け、大規模な干潟とヨシ原が広がっており、干潟にはムツゴロウ、シオマネキやアシハラガニ、シギ・チドリ類などの、ヨシ原にはオオヨシキリなどの格好の生息場となっている。



▲ガタ土



▲ヨシ原



▲有明海特有の魚類(ムツゴロウ)



### 2-2-3 嘉瀬川における特定種

嘉瀬川における特定種を河川水辺の国勢調査等の調査結果をもとに、レッドデータブック・レッドリスト（環境省）記載種、天然記念物指定種等の学術上または希少性の観点から抽出した結果を表 2-2-2 に示す。

表 2-2-1 特定種の選定基準一覧表

法令・文献等	カテゴリー	
	凡例	選定基準等
文化財保護法 (天然記念物)	「文化財保護法」(1950)に基づく天然記念物	
	国特	国指定特別天然記念物：「文化財保護法」(1950)により、特別天然記念物に指定されているもの
	国天	国指定天然記念物：「文化財保護法」(1950)により、天然記念物に指定されているもの
	県天	県指定天然記念物
	市町天	市町村指定天然記念物
種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1993)における希少野生動植物種	
	国内	国内希少野生動植物種
	国際	国際希少野生動植物種
改訂・環境庁 レッドデータブック (植物)	「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—8植物 I (維管束植物)」(環境庁編, 2000)に記載された種	
	EW	野生絶滅: 飼育・栽培下のみ存続している種
	CR+EN	絶滅危惧 I 類: 絶滅の危機に瀕している種
	CR	絶滅危惧 I A 類: ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
	EN	絶滅危惧 I B 類: I A 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
	VU	絶滅危惧 II 類: 絶滅の危険が増大している種
	NT	準絶滅危惧: 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性がある種
	DD	情報不足: 評価するだけの情報が不足している種
改訂・環境庁 レッドデータブック 及びレッドリスト (動物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—1(哺乳類)」(環境省編, 2002)に記載された種。</li> <li>・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—2(鳥類)」(環境省編, 2002)に記載された種。</li> <li>・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—3(爬虫類・両生類)」(環境省編, 2000)に記載された種。</li> <li>・「日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—」(環境庁編, 1991)をもとに、1999年に改訂された汽水・淡水魚類及び2000年に改訂された陸上昆虫類のレッドリストの掲載種。</li> </ul>	
	EW	野生絶滅: 飼育・栽培下のみ存続している種
	CR	絶滅危惧 I A 類: ごく近い将来における絶滅の可能性が極めて高い
	EN	絶滅危惧 I B 類: I A ほどではないが、近い将来における絶滅の可能性が高い
	VU	絶滅危惧 II 類: 絶滅の危険が増大している種
	NT	準絶滅危惧: 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては 絶滅危惧に移行する可能性のある種
	DD	情報不足: 評価するだけの情報が不足している種
	LP	地域個体群: 地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群
レッドデータブックさが	「佐賀県の絶滅のおそれのある野生動植物—レッドデータブックさが—」(佐賀県希少野生生物調査検討会編著, 2000)に記載された種。	
	絶滅種	絶滅種: 佐賀県内ではすでに絶滅したと考えられる種
	危惧 I	絶滅危惧 I 類種: 絶滅の危機に瀕している種
	危惧 II	絶滅危惧 II 類種: 絶滅の危険が増大している種
	準絶滅	準絶滅危惧種: 存続基盤が脆弱な種
	情報不足	情報不足種: 評価するだけの情報が不足している種
地域個体群	絶滅のおそれのある地域個体群: 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの	

表 2-2-2 嘉瀬川で確認された特定種一覧表

生物群	No.	科名	種名	重要種選定基準				
				1. 天然記念物	2. 種の保存法	3. 環境庁RDB(植物)	4. 環境庁RDB(動物)	5. RDBさが
植 物	1	トクサ	イズドクサ					危惧 I
	2	スイレン	ヒメコウホネ			VU		危惧 II
	3	ウコギ	ヤマウコギ					準絶滅
	4	シソ	ミノウジュ			NT		準絶滅
	5	ナス	ヤマホオズキ			EN		危惧 I
	6	ゴマノハグサ	カワヂシャ			NT		
	7	キク	ウラギク			VU		
	8	カヤツリグサ	ムギカラガヤツリ					危惧 I
	9	ラン	シュンラン					準絶滅
8科 9種類				0	0	5	—	7
鳥 類	1	サギ	ササゴイ					危惧 I
	2		チュウサギ				NT	
	3	トキ	ヘラサギ				DD	準絶滅
	4		クロツラヘラサギ				CR	危惧 I
	5	カモ	アカツクシガモ				DD	
	6		ツクシガモ				EN	危惧 I
	7		トモエガモ				VU	準絶滅
	8	タカ	ミサゴ				NT	危惧 I
	9		オオタカ		○		VU	危惧 II
	10	ハヤブサ	ハヤブサ		○		VU	危惧 I
	11	シギ	ダイシャクシギ					危惧 II
	12		ホウロクシギ				VU	危惧 II
	13	セイタカシギ	セイタカシギ				EN	
	14	カモメ	ズグロカモメ				VU	危惧 II
	15	カラス	カササギ	国天				
9科 15種				1	2	—	12	11
両 生 類	1	アカガエル	トノサマガエル					情報不足
1科 1種				0	0	—	0	1
爬 虫 類	該当種無し							
0科 0種				0	0	—	0	0
哺 乳 類	1	ネズミ	カヤネズミ					情報不足
1科 1種				0	0	—	0	1
陸 上 昆 虫 類	1	オサムシ	オオヒョウタンゴミムシ				NT	
1科 1種				0	0	—	1	0
魚 類	1	ヤツメウナギ	スナヤツメ				VU	準絶滅
	2	コイ	カゼトゲタナゴ				VU	危惧 II
	3	ドジョウ	スジシマドジョウ小型種点小型				EN	危惧 I
	4	シラウオ	アリアケシラウオ				CR	危惧 I
	5	メダカ	メダカ				VU	準絶滅
	6	サヨリ	クルメサヨリ					危惧 II
	7	カジカ	ヤマノカミ				VU	危惧 II
7科 7種				0	0	—	6	7
底 生 動 物	1	スナガニ	アリアケガニ					危惧 II
	2		ハラグクレチゴガニ				DD	危惧 II
	3		シオマネキ				NT	準絶滅
	4	サナエトンボ	アオサナエ					準絶滅
	5	エゾトンボ	キイロヤマトンボ				VU	危惧 II
	6	コオイムシ	コオイムシ				NT	
4科 6種				0	0	—	4	5

網掛け : その生物群が重要種選定基準に該当しないことを示す

※最新確認: 最新の河川水辺の国勢調査で確認された種  
(植物: H13年度, 鳥類: H11年度, 両生類・爬虫類・哺乳類: H9年度, 昆虫類: H13年度, 底生動物: H13年度, 魚類: H10年度)

## 2-3 特徴的な河川景観や文化財等

### 2-3-1 文化

#### (1) 名勝および天然記念物

嘉瀬川流域内には名勝は存在しないが、国および県指定の天然記念物としては表2-3-1に示す18物件がある。

#### 【No.1：カササギ生息地】

カササギは、豊臣秀吉による朝鮮の役するとき、「肥前かちかち（勝々）」と鳴いたので佐賀藩祖鍋島直茂が瑞鳥として持ち帰り、佐賀藩で保護をしたことで繁殖したものであると伝えられている。「勝鳥」、「勝鳥」、「肥前鳥」などと呼ばれて県民に親しまれている。

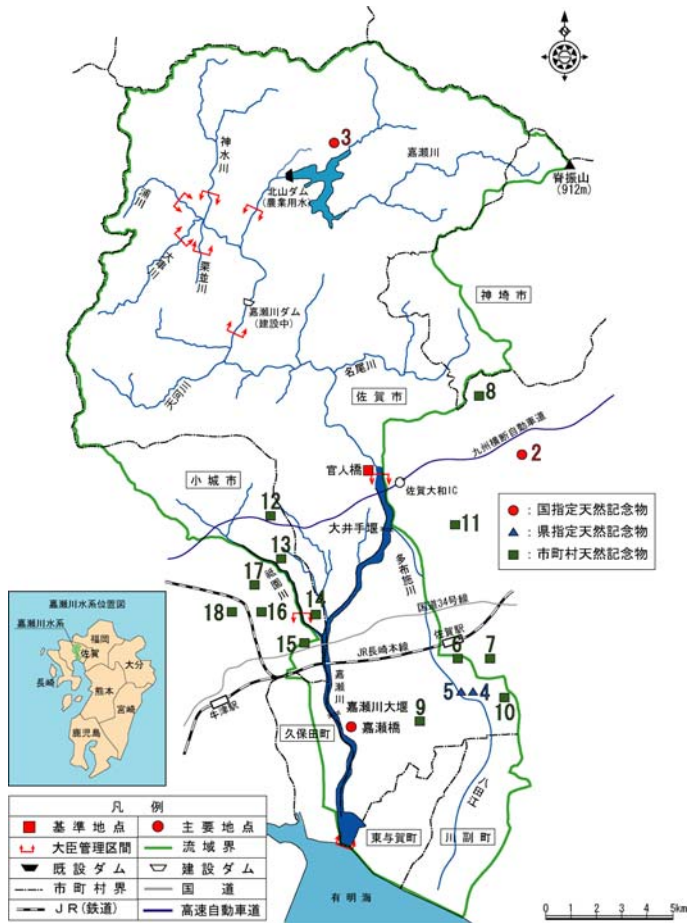


図 2-3-1 嘉瀬川流域名勝・天然記念物位置図

表 2-3-1 嘉瀬川流域内外の天然記念物

No.	指定区分	名称	指定年月日	所在地
1	国天然記念物	カササギ生息地	大正12年3月7日	佐賀市，佐賀郡，多久市，小城郡 <sup>※1</sup> ，武雄市，三養基郡，神埼郡，鳥栖市，杵島郡，鹿島市，藤津郡
2		エヒメアヤマ自生南限地帯	大正14年10月8日	佐賀市久保泉町
3		下合瀬の大カツラ	昭和37年5月16日	富士町 <sup>※2</sup> 大字北山
4	県天然記念物	佐嘉城趾の楠（群）	昭和28年11月3日	佐賀市城内
5		与賀神社の楠	昭和40年7月23日	佐賀市与賀町
6	市町村天然記念物	国相寺の楠	昭和44年2月11日	佐賀市愛敬町
7		牛島神社の楠	昭和53年3月1日	佐賀市佐賀町
8		大小野の石楠花	昭和54年3月1日	佐賀市金立町
9		高伝寺の梅	昭和55年3月1日	佐賀市本庄町
10		日枝神社の楠	昭和58年3月1日	佐賀市北川副町
11		浄円寺のイチヨウ	平成6年3月22日	佐賀市金立町
12		織島神社の楠	昭和54年6月2日	三日月町 <sup>※1</sup> 大字織島
13		勝妙寺の金木屋	昭和54年6月2日	三日月町 <sup>※1</sup> 大字織島
14		淀姫宮の楠	昭和54年6月2日	三日月町 <sup>※1</sup> 大字堀江
15		千代雀の楠	昭和54年6月2日	三日月町 <sup>※1</sup> 大字堀江
16		天満宮の楠	昭和54年6月2日	三日月町 <sup>※1</sup> 大字樋口
17		七星宮の楠	昭和54年6月2日	三日月町 <sup>※1</sup> 大字長神田
18		甲柳原天満宮の楠	昭和54年6月2日	三日月町 <sup>※1</sup> 大字甲柳原

※1：小城町（H17.3.1より小城町，三日月町，牛津町，芦刈町が合併）

※2：佐賀市（H17.10.1より佐賀市，諸富町，大和町，富士町，三瀬村が合併）

## (2) 文化財・史跡

嘉瀬川流域においては、先土器時代から人間が住み始めていた。そのため、先土器時代、縄文、弥生、古墳時代等の遺跡や、国府が設置され城下町として栄えた遺構等の歴史・文化遺跡が数多く分布しており、国県市町の文化財・史跡として数多くが指定されている。

### [与賀神社楼門]



与賀神社楼門は、いくたびかの改修を経ており、建立年代は明確ではありませんが、構造形式からみると、室町時代前後の作と推定されます。近年では昭和25年11月、文化財保護委員会の指導のもと、解体修理を開始。昭和27年に修理は完了しました。全体の様式は和様ですが、ところどころに唐様の手法も使われており、佐賀地方では珍しい古建築です。

### [与賀神社三の鳥居及び石橋]



与賀神社の鳥居は慶長8年(1603)に造られたとされ、肥前鳥居の形式で作られています。その形式は、柱が三本柱となっているのが基本的で、柱の下部が太く、笠木と島木が一体となり、これも三本柱となっています。  
石橋は、長さ10.5メートル、幅3.15メートル、橋脚は18本で、擬宝珠10個がついており、佐賀藩藩祖・鍋島直茂が寄進したものです。桃山時代の特徴がよく表れた優美な橋です。

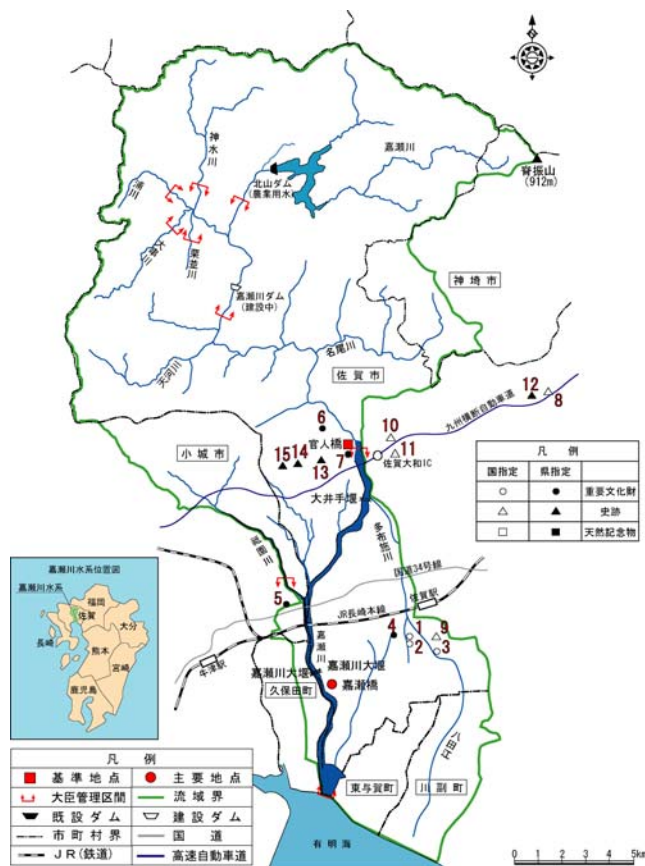


図2-3-2 嘉瀬川流域内に位置する文化財

表2-3-2 嘉瀬川文化財諸元

No.	種別	名称	所在地	指定年月日
1	重要文化財(国)	与賀神社楼門	佐賀市与賀町2番50号	昭和25年8月29日
2	重要文化財(国)	与賀神社三の鳥居及び石橋	佐賀市与賀町2番50号	昭和45年6月17日
3	重要文化財(国)	佐賀城鯨の門及び続櫓	佐賀市城内2丁目	昭和32年6月18日
4	重要文化財(県)	石造肥前鳥居	佐賀市本庄町大字本庄1156番地	昭和39年5月23日
5	重要文化財(県)	香椎神社四脚門	佐賀郡久保田町徳万	-
6	重要文化財(県)	実相院仁王門	佐賀郡大和町 <sup>※1</sup> 川上947	-
7	重要文化財(県)	与止日女神社西門	佐賀郡大和町 <sup>※1</sup> 川上1-1	-
8	史跡(国)	帯隈山神籠石	佐賀市久保泉町大字川久保1023番地ほか	昭和26年6月9日
9	史跡(国)	大隈重信旧宅	佐賀市水ヶ江2丁目11番11号	昭和40年6月4日
10	史跡(国)	西隈古墳	佐賀市金立町大字金立2936番地	昭和50年6月26日
11	史跡(国)	銚子塚	佐賀市金立町大字金立2355番地	昭和53年3月11日
12	史跡(県)	関行丸古墳	佐賀市久保泉町大字川久保4097番地	昭和47年3月29日
13	史跡(県)	大願時魔寺跡	佐賀郡大和町 <sup>※1</sup> 大字川上宇大願寺	-
14	史跡(県)	船塚	-	昭和28年
15	史跡(県)	姫塚	-	-

※1：佐賀市(H17.10.1より佐賀市、諸富町、大和町、富士町、三瀬村が合併)

出典：佐賀市HP

## 2-3-2 イベント・観光

### (1) イベント

嘉瀬川流域の市町村では数多くのイベントが催されている。

表 2-3-3(1) 嘉瀬川流域市町村の主な年中行事

流域内市町	No	イベント名称	開催時期	概要(場所)
佐賀市	1	十日恵比寿	1月10日	与賀神社
	2	ライトファインタジー	中旬まで	佐賀駅前～県庁前までの中央通り
	3	佐嘉神社の節分祭	2月3日	佐嘉神社
	4	伊勢大祭	2月11日	伊勢神社
	5	さが桜マラソン	4月第1日曜日	県総合運動場
	6	神野公園桜まつり	4月上旬	神野公園
	7	江藤新平銅像まつり	4月中旬	神野公園
	8	日峰さん春まつり	4月10～12日	松原神社
	9	釈迦堂まつり	4月19日, 20日	高伝寺
	10	銀天夜市	6～8月土曜日のみ	市内中心商店街
	11	栄の国まつり	8月第1土日	シンボルロード
	12	精霊流し	8月15日	今宿町・八戸町
	13	白髪神社田楽	10月18, 19日	白髪神社
	14	日峰さん秋まつり	10月10～12日	松原神社
	15	歴史街道フェスティバル	10～11月	
	16	ふるさと民謡まつり	11月上旬	佐賀市文化会館
	17	佐賀インターナショナル バルーンフェスタ	11月下旬	嘉瀬川河川敷
	18	鑑真和上遣唐使船レース	8月下旬	嘉瀬川中流部 (佐賀県立森林公園西)
	19	ライトファンタジー	11～1月中旬	
大和町※1	20	佐賀川上峡ロードレース	1月16日	川上峡周辺
	21	川上峡春祭り	3月26日	川上峡周辺
	22	川上峡春まつりスケッチ大会	3月28日	川上峡周辺
	23	鯉のぼり吹流し	3月28日～5月9日	川上峡官人橋付近
	24	実相院お経会	4月10～20日	実相院
	25	与止日女神社大祭	4月18日	与止日女神社(川上神社)
	26	川上峡まほろば納涼まつり	5月1日	川上峡付近
	27	川上峡花火大会	5月1日	川上峡付近
	28	川上峡灯籠流し	5月1日	川上峡付近
	29	大和町浮立	10月上旬	
	30	久池井浮立	11月23日	
	31	まほろば祭り	12月11, 12日	大和町役場
久保田町	32	元旦マラソン	1月1日	久保田町改善センター
	33	チューリップ祭り	4月中旬	
	34	佐賀県さわやかスポーツ・ レクリエーション祭	5月16, 23日	
	35	精霊流し	8月15日	嘉瀬川河川敷みどり橋 一帯
	36	香椎神社大祭・相撲大会	10月17日	香椎神社
三日月町※2	37	みんなおいでん祭	4月第2日曜日	
	38	ムーンファンタジア in 三日月	8月6, 7日	三日月ふれあい公園 ディング三日月
	39	ふるさとふれあい祭	11月3日	三日月ふれあい公園 ディング三日月
	40	三日月龍王浮立奉納	12月19日	織島神社

※1：佐賀市（H17.10.1より佐賀市、諸富町、大和町、富士町、三瀬村が合併）

※2：小城市（H17.3.1より小城市、三日月町、牛津町、芦刈町が合併）

表 2-3-3(2) 嘉瀬川流域市町村の主な年中行事

流域内市町	No	イベント名称	開催時期	概要(場所)
小城町※2	40	梅まつり	2月末～3月初	牛尾神社周辺
	41	小城公園桜まつり	3月下旬～4月上旬	小城公園
	42	春雨まつり	4月第1土曜日	小城公園・小城公民館
	43	ホテルまつり	5月下旬	祇園川河畔
	44	ホテルの里ウォーク	5月22日	小城町周辺
	45	山挽祇園	7月第4土日	須賀神社
	46	びがん花まつり	9月22～30日	江里口の棚田
	47	かかしフェスティバル	9月22～30日	
	48	おくんち	10月中旬	岩蔵天山神社
	49	小城町ふるさとまつり	10月30, 31日	小城公園を中心として
富士町※1	50	春の七草を食する会	1月4日	吉村家
	51	富士町育樹祭	3月7日	
	52	富士町健康マラソン大会	4月11日	富士町役場
	53	古湯温泉花火大会	7月11日	佐賀市富士公園
	54	北山湖祭	8月8日	
	55	古湯映画祭	9月中旬	
	56	諏訪おくんち	10月第3日曜日	
	57	市川天衝舞浮立	10月中旬	市川諏訪神社
	58	天衝舞浮立・鐘打浮立	10月中旬	
	59	富士町ふれあい祭り	10月30, 31日	佐賀市富士支所周辺
三瀬村※1	60	北山湖祭	8月8日	
	61	田舎と都市のふれあい祭り	10月30, 31日	三瀬村役場広場
脊振村※3	62	シャクナゲ祭り	4月17日～5月9日	浄徳寺
	63	脊振村わんぱく祭り	8月15日	脊振村高取山公園
	64	溪流まつり	10月第1日曜日	
	65	Mt. 脊振初日の出	12月31日～1月1日	脊振山山麓山頂
川副町	66	新春ジョギング大会	1月1日	スポーツパーク川副
	67	川副町ロードレース大会・ 車いすマラソン大会	2月中旬	スポーツパーク川副
	68	川副町文化祭・文化作品展	2月下旬	
	69	川副町観光海開き	4月上旬	戸ヶ里漁港
	70	(町内七社)春祭り	4月中旬	
	71	ふれあいレンゲまつり	4月17日～5月16日	
	72	志賀神社門前市	4月下旬日曜日	志賀神社
	73	干潟探検隊「ガタベンチャー」	GW	有明海
	74	祇園(夏祭り)	7月15日	
	75	松枝神社奉納浮立	10月中旬	松枝神社
	76	海童神社奉納浮立	10月第3日曜日	海童神社
	77	秋祭り	10月中旬	
	78	県高等学校駅伝大会	11月上旬	
	79	菊花展	11月上旬	
	80	川副町ふな釣り大会	11月第2日曜日	川副町内のクレーク
81	佐野祭	12月7日	佐野常民生誕地記念碑前	
82	収穫祭	12月15日	佐賀県農業大学校	
東与賀町	83	東与賀干潟まつり	8月25日	有明海そば干潟公園
	84	いきいき元気フェスタ	10月30日	東与賀町文化ホール ふれあい館
	85	シチメンソウ祭	11月13日	干潟・いこいの広場周辺
	86	天衝舞浮立	12月第2日曜日	
	87	干潟ロードレース大会	11月25日	農業環境改善センター

※1: 佐賀市 (H17.10.1より佐賀市、諸富町、大和町、富士町、三瀬村が合併)

※2: 小城市 (H17.3.1より小城市、三日月町、牛津町、芦刈町が合併)

※3: 神埼市 (H18.3.20より神埼町、脊振村、千代田町が合併)

## No. 17 佐賀インターナショナル

### バルーンフェスタ

佐賀の秋の風物詩である「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」は毎年10月末から11月上旬にかけて開催され、国内外から100機を超える熱気球が集まるこの大会は、世界中のバルーンリストからも注目を集める国際的なバルーンの祭典である。



## No. 18 がんじんわじょうけんとうしせん 鑑真和上遣唐使船レース

日本に太平文化の花を咲かせた鑑真和上の佐賀県嘉瀬津上陸にちなみ、鑑真和上らが来日時に乗船した遣唐使船を模した和船レースを行うもので、往時の文化・歴史を学び、また人と川との共生の意識や流域住民との交流・連携を深めることを目的としている。



## No. 23 鯉のぼりの吹き流し

九州の嵐山と称され、山間を流れる美しい風景の川上峡の官人橋上下流にて4月1日～5月中旬に全国各地から寄贈された500～600の鯉のぼりが春風に群舞し、息をのむほど美しい風景が楽しめる。



## No. 28 灯籠流し

九州の嵐山と称され、山間を流れる美しい風景の川上峡の官人橋上下流にて8月に盛大な花火大会や幻想的な灯籠流しが開催されている。



## No. 35 精霊流し

8月15日に嘉瀬川河川敷みどり橋一帯で、久保田町商工会主催「精霊流し・花火大会」が行われる。精霊船の幻想的な光と、空高く打ち上げられる、赤や青など色とりどりの花火が時の経つのを忘れさせてくれる。



## (2) 観光

嘉瀬川流域内の観光資源として、「脊振・北山せふり ほくざん県立自然公園」,「川上・金立かわかみ きんりゅう県立自然公園」,「天山てんざん県立自然公園」の大自然を生かした散策路やキャンプ場などの野外施設が多く、家族向けの施設も完備している。

温泉は、斎藤茂吉さいとうもきちが訪れた「古湯温泉」をはじめ「熊の川温泉」が存在しており、温泉入浴施設の完備や多くの旅館があり、観光客が多数利用している。

また、九州では珍しい「天山リゾートスキー場」が存在し、シーズンとなれば多くのスキー客で賑わいを見せている。



▲天山リゾートスキー場

出典：佐賀市ホームページ



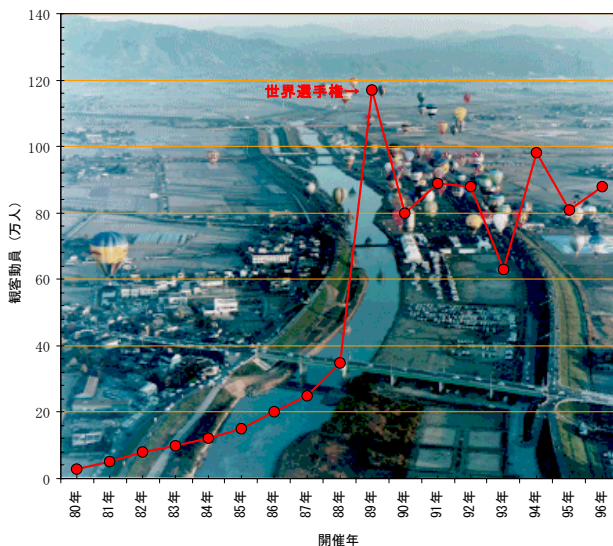
▲熊の川温泉

出典：富士町商工会議所

また、佐賀の秋の風物詩である「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」は毎年10月末から11月上旬にかけて開催される

国内外から100機を超える熱気球が集まるこの大会は、世界中のブルーニストからも注目を集める国際的なバルーンの祭典である。

観客動員は1980年に行われた現在のバルーンフェスタの礎となった「バルーン・フェスタ・イン九州」から現在まで年々増加の傾向にある。



佐賀におけるバルーン大会観客動員数推移 (大会名)			(観客動員数)
1978	バルーンフェスタイン九州 (開催地：甘木)	1	万
1979	バルーンフェスタイン九州 (開催地：甘木)	1	万
1980	バルーンフェスタイン九州	3	万
1981	バルーンフェスタイン佐賀	5	万
1982	バルーンフェスタイン佐賀	8	万
1983	バルーンフェスタイン佐賀	10	万
1984	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	12	万
1985	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	15	万
1986	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	20	万
1987	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	25	万
1988	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	35	万
1989	第9回佐賀熱気球世界選手権	117	万
1990	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	80	万
1991	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	89	万
1992	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	88	万
1993	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	63	万
1994	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	98	万
1995	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	81	万
1996	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	88	万

図 2-3-3 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ観客動員数推移

出典：SAGA International Balloon Fiesta Official Photo Guide Book (1996年3月31日)

熱気球大会佐賀運営委員会編 (96年については佐賀市資料)



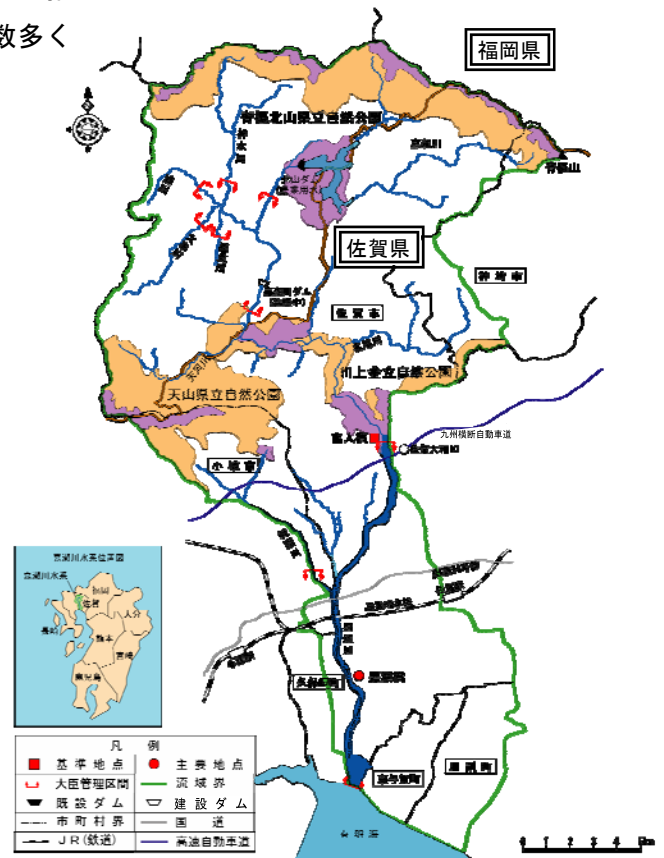
## 2-4 自然公園等の指定状況

嘉瀬川流域の市町村における自然保護関連の指定項目と指定状況は以下のとおりであり、数多くの自然・動植物が保全の対象となっている。

### (1) 嘉瀬川流域の自然公園の指定状況

嘉瀬川流域内に自然公園法(昭和32年法律第161号)に基づき国が指定する国立公園、国定公園はない。

一方、佐賀県自然公園条例(昭和30年佐賀県条例第50号)に基づき県が指定する県立公園は、表2-4-1及び図2-4-1に示すとおりであり、福岡県との境に「脊振・北山県立自然公園」、中流部に「川上・金立県立自然公園」「天山県立自然公園」がある。



#### [凡例]

<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:purple; border:1px solid black;"></span>	: 県立自然公園 (特別地域)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:orange; border:1px solid black;"></span>	: 県立自然公園 (普通地域)
<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom:2px solid brown;"></span>	: 九州自然歩道

<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:red; border:1px solid black;"></span>	凡例	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:red; border:1px solid black;"></span>	主要地点
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border-bottom:2px solid red;"></span>	基準地点	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border-bottom:2px solid green;"></span>	流域界
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border-bottom:2px solid black;"></span>	大臣管理区画	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border-bottom:2px solid black;"></span>	建設ダム
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border-bottom:2px dashed black;"></span>	既設ダム	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border-bottom:2px dashed black;"></span>	国道
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border-bottom:2px solid black;"></span>	市町村界	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border-bottom:2px solid blue;"></span>	高速自動車道
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border-bottom:2px solid black;"></span>	JR(鉄道)		

図2-4-1 嘉瀬川流域内の公園

表2-4-1 県立自然公園の指定状況

区分	名称	面積 (ha)		指定年月日	
県立自然公園	天山県立自然公園	特別地域	第1種	—	昭和45年10月1日
			第2種	—	
			第3種	567	
			合計	567	
	普通地域	4,363	合計	4,930	
脊振北山県立自然公園	特別地域	第1種	120	昭和50年12月12日	
		第2種	851		
		第3種	1,043		
		合計	2,014		
普通地域	5,953	合計	7,967		
川上金立県立自然公園	特別地域	第1種	—	昭和50年12月12日 (変更) 平成6年8月3日	
		第2種	—		
		第3種	621		
		合計	621		
	普通地域	2,400	合計	3,021	

出典:平成14年版 環境白書(佐賀県環境生活局環境課 平成15年)  
佐賀県立自然公園条例(昭和33年佐賀県条例第50号)

**天山県立自然公園：樹々を潤す滝の清流と、心をいやす天山からの眺め**

森の木々をかき分けるように流れる2つの滝が、天山県立自然公園のアクセントとなっています。滝ゴリで有名な清水の滝は落差 75m、流れ落ちる水は祇園川に注ぎ、名物の鯉とホタルを育てています。そして落差 100m、日本の滝 100 選にも選ばれた見帰りの滝は、色とりどりのアジサイが優雅に初夏を演出。公園の中心には、経ヶ岳、秀峰天山（1046m）がそびえ、草原が広がる山頂からの眺望と眼下に広がる佐賀平野の穏やかさが心を洗ってくれます。公園の西には3つの池を山頂に持つ作礼山（887m）が一角を占め、天山とともに登山やハイキングのスポットとして親しまれています。（出典：佐賀県 HP）



▲天山県立自然公園

**脊振・北山県立自然公園：北山湖の森の緑が織りなす、遊びと憩いの公園**

筑紫山脈の一部、脊振山系の脊振山（標高 912m）を最高峰に、基山、九千部山、石谷山、雷山などが東西に連なる脊振・北山県立自然公園。豊かな樹林とそれを映し出す北山湖が美しく、まさに水と緑の自然公園です。山は平坦部が多く比較的緩やかなため登山・ハイキングに向き、九州を一周する九州自然歩道のコースの一部にもなっています。北山湖畔一帯は、そのままの自然を見て触れて憩う、国民休養地。ボートでの湖探索やサイクリング、バードウォッチングなど楽しみが盛りだくさんです。その他に草スキーの名所である基山の山頂には、日本最初の国防施設・基肆城跡もあります。（出典：佐賀県 HP）



▲脊振・北山県立自然公園

川上・金立県立自然公園：嘉瀬川沿いに広がる絶景，静かに佇む湯の里

嘉瀬川沿い約 12km の公園区域で始まり，佐賀市と神埼市の山麓部が加わって現在の川上・かわかみ きんりゅう金立県立自然公園が誕生しました。脊振山系の山々に源を発し，山あいを静かに流れる嘉瀬川周辺は美しい景勝地の宝庫。中流には“九州の嵐山”と呼ばれる川上峡があり，春は桜，秋は紅葉を楽しむ観光客で賑わいます。上流にある熊の川温泉，古湯温泉は文人・詩人にも愛された湯治の名所。両温泉との中ほどには，溪谷と森の緑が調和したおぶち めぶち雄淵・雌淵峡谷があり，大小の奇岩の上で遊ぶ子供たちの姿が見られます。公園の東端に位置する日の隈山は，別名西郷富士とも呼ばれる県民にお馴染みの山です。（出典：佐賀県 HP）



▲川上・金立県立自然公園

(2) 嘉瀬川流域の鳥獣保護法設置区域

嘉瀬川流域内における鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律(平成14年法律第88号)に基づく鳥獣保護区等の設定状況は、表2-4-2及び図2-4-2に示すとおりである。

旧富士町(現、佐賀市)に鳥獣保護区特別保護地区が設定されている他、鳥獣保護区は佐賀市、久保田町、旧富士町(現、佐賀市)、小城町(現、小城市)、旧三日月町(現、小城市)、旧脊振村(現、神崎市)及び旧三瀬村(現、佐賀市)に、銃猟禁止区域は佐賀市、川副町、旧大和町(現、佐賀市)に設定されている。

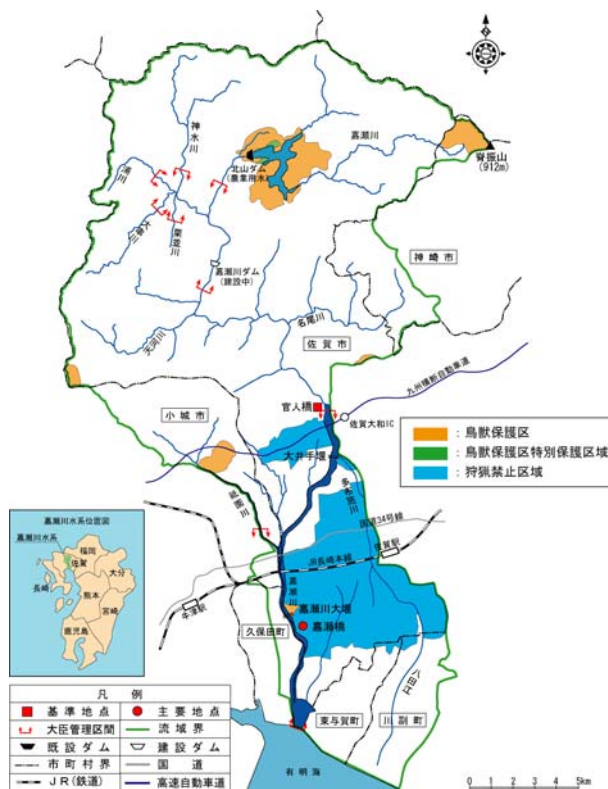


図2-4-2 嘉瀬川流域内の鳥獣保護区域

表2-4-2 鳥獣保護区等の設定状況

No.	区分	名称	主たる所在地	期間	面積 (ha)
1	鳥獣保護区	北山ダム	富士町※1, 三瀬村※1	平成22年10月31日	907
2		脊振山	脊振村※2, 東脊振村※3	平成25年10月31日	1,082
3		金立	佐賀市	平成19年10月31日	505
4		岡本	三日月町※4	平成19年10月31日	132
5		天山	多久市, 厳木町※5	平成25年10月31日	278
6		森林公園	佐賀市, 久保田町	平成24年10月31日	38
7	鳥獣保護区特別保護地区	北山ダム	富士町※1	平成22年10月31日	70
8	銃猟禁止区域	大和	大和町※1	平成19年10月31日	800
9		佐賀	佐賀市	平成24年10月31日	5,212

※1: 佐賀市 (H17.10.1より佐賀市、諸富町、大和町、富士町、三瀬村が合併)  
 ※2: 神崎市 (H18.3.20より神崎町、脊振村、千代田町が合併)  
 ※3: 吉野ヶ里町 (H18.3.1より三田川町、東脊振村が合併)  
 ※4: 小城市 (H17.3.1より小城町、三日月町、牛津町、芦刈町が合併)  
 ※5: 唐津市 (H17.1.1より唐津市・(玄海町・七山村を除く)東松浦郡7町村と合併)  
 出典: 平成15年度 佐賀県鳥獣保護区等位置図(佐賀県農政部農政課)